

氏名	黒田 寿美恵
授与した学位	博士
専門分野の名称	博士(保健学)
学位授与番号	甲第 5004 号
学位授与の日付	平成 26 年 3 月 25 日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	外来外照射療法開始前のがん患者が必要とする情報と患者の内的世界 —患者のセルフケアを促進する治療開始前の看護支援の検討—
論文審査委員	森本 美智子 教授、齋藤 信也 教授、近藤 真紀子 准教授

学位論文内容の要旨

研究目的は、外来外照射療法適用決定後治療開始前のがん患者が必要とする情報の詳細と患者の内的世界とを明らかにし、外来外照射療法を受けるがん患者のセルフケアを促進する治療開始前の看護支援への示唆を得ることである。外来外照射療法開始前のがん患者 21 名に半構造化面接を実施し、Krippendorff の内容分析の手法を用いて分析した。情報の詳細は①有害事象の種類及び出現時期・部位・程度、②有害事象に対する医療者及び自分自身の対処法、③抗腫瘍効果に関する客観的指標、④照射回数・照射期間と抗腫瘍効果との関係、などの 12 大表題に類型化され、内的世界は①病状の悪化や死の意識がもたらす脅威の知覚、②がんの不確かさへの憂慮、③がん治療への志向、④人生の回顧、などの 16 大表題に類型化された。外来外照射療法開始前の看護支援への示唆として、①情報の 12 の大表題に関する内容を治療開始前に提供し、患者が外来外照射療法をコントロールできる感覚を獲得できるようにする、②集学的治療を体験した患者に過去の治療に対する不満がある場合には治療開始前に解消する援助を行う、など 4 つが得られた。

日本がん看護学会誌 (掲載予定)

キーワード：外来外照射療法、がん患者、セルフケア、治療開始前、看護支援

論文審査の結果の要旨

外来で外照射療法を行う患者には、その治療の特性から患者のセルフケアを促進する支援の充実が期待されている。本論文は、半構造化面接を実施し、外来外照射療法を受けるがん患者が治療前に必要としている情報と治療前の患者の心のあり様を内容分析により明らかにしたものであり、以下のような成果を得ている。

1) 治療前の患者が必要としている情報は、外照射療法特有の有害事象とその対処法、生活上の制約、受けた人の体験など、12の情報であることを示した。

2) 治療前の患者の心のあり様は、がん治療や生に向けての積極的な構え、ほかの選択肢を断念して外照射療法を受ける覚悟など、16に類型化されることを示した。

治療開始前にある患者を対象として、患者がどのような情報提供を必要としているのか、その情報を明らかにした点、セルフケアの促進・抑制に関与すると考えられる心のあり様を示唆した点は、貴重といえよう。ただし、本論文には、以下のような課題も指摘できる。内的世界という用語を用いる適切性である。

課題を含みつつも、外照射療法を受ける患者のセルフケアに関する文献レビュー(副論文：先行研究)から情報提供や心のあり様を明らかにする意義を示し、段階的に研究を積み重ねている点は評価に値する。

よって、本論文を博士の学位に値する論文であると判断する。

審査委員会は、論文内容およびこれに関連する事項について試問を行った結果から、合格とすることを適当と認める。